

コシヒカリの生育は、平年並みになってきましたが、一部で葉色の薄い圃場も見られます。今年もカメムシ類が管内全域で多く発生しています。幼穂や出穂状況を必ず確認し、適切な水管理や防除を行いましょう。

1 コシヒカリの防除 参照ページ:p73



【YouTube】
14 基本防除



アヒゲホソドリカスミカ多発!

●防除時期の目安【5月13日田植え、出穂予想7月31日頃の場合】

防除時期	紋枯病、カメムシの常発地	穂揃期	基本防除	傾穂期
	出穂始め(7月27日~7月29日頃)	8月3~5日頃		8月10~12日頃
粉剤	バリダジョーカー粉剤DL 4kg/10a (収穫14日前まで)	ラブサイドキラップ粉剤DL 4kg/10a (収穫14日前まで)		スタークル粉剤DL 3kg/10a (収穫7日前まで)
対象 病害虫	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、 紋枯病等	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類		カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ
液剤	バリダシン液剤5 1,000倍(収穫14日前まで) + MR. ジョーカーEW 2,000倍(収穫14日前まで)	ラブサイドフロアブル 1,000倍(収穫7日前まで) + キラップフロアブル 1,000倍(収穫14日前まで)		スタークル液剤10 1,000倍 (収穫7日前まで)
	散布量:150ℓ/10a	散布量:150ℓ/10a		散布量:150ℓ/10a
対象 病害虫	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、 紋枯病等	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類		カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ
微粒剤		ビームスタークル微粒剤F 3kg/10a (収穫7日前まで)		キラップ微粒剤F 3kg/10a (収穫14日前まで)
対象 病害虫		いもち病、カメムシ類、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ		カメムシ類、イナゴ類 ウンカ類

☆ 農薬散布における留意点 ☆

- ① 今後、高温で経過すると、出穂が早くなることがあるので、圃場毎の出穂状況を確認して適期に防除しましょう。
- ② 農薬のラベルに記載された使用量、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守しましょう。
- ③ 防除間隔は7日を基本とし、10日以上あけないようにして下さい。
- ④ 防除は風のない時間帯に実施し、稲以外の作物や学校・住宅地等の周辺への農薬飛散の防止に努めましょう。
- ⑤ 微粒剤体系は、農薬飛散の問題がある市街地周辺、稲以外の作物が隣接する場合に使用します。
- ⑥ 微粒剤は、粉剤とは散布特性が違うので、均一に散布するために**微粒剤F専用ホース**を使用しましょう。

2 コシヒカリの追加穂肥 参照ページ:p71

【YouTube】
11 穂肥散布



【YouTube】
12 品種別穂肥

(1) 肥効調節型(基肥一発)肥料体系

水をあてていても、出穂7日前に葉色が4.0(砂壤土4.2)未満と薄い場合は、追加穂肥を施用しましょう。

●追加穂肥の目安(5月13日田植え、出穂予想7月31日頃の場合)

施用時期	肥料名	10a 当たり施用量
出穂7~3日前 (7/24~7/28頃)	追肥3号	5~7kg(砂壤土7~10kg)

水が無いと、肥料が吸えません。
キッチリ飽水管理を行いましょう!!



(2) 分施肥体系

●2回目の穂肥の目安(5月13日田植え、出穂予想7月31日頃の場合)

施用時期	肥料名	10a 当たり施用量	穂揃期の葉色目標
1回目穂肥の7日後(7/24頃)	追肥3号	10~13kg(砂壤土13kg)	4.2~4.5(砂壤土は4.5)

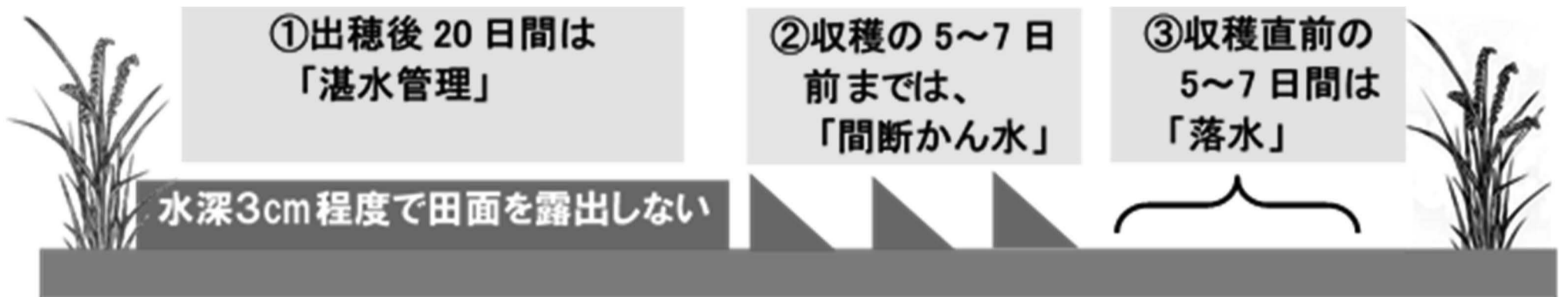
※水をあてていても、2回目の穂肥施用後に、葉色が4.0(砂壤土4.2)以下と薄い場合は、出穂3日前までに追肥3号で5~7kg/10a(砂壤土7~10kg/10a)を施用しましょう。

3 出穂期以降の水管理 参照ページ:p75

【YouTube】
15 登熟期間の
水管理



登熟期間の水不足は、白未熟粒や胴割粒の発生を助長し、品質低下の大きな要因となります。
生育ステージに応じた水管理を行い、良質米に仕上げましょう。



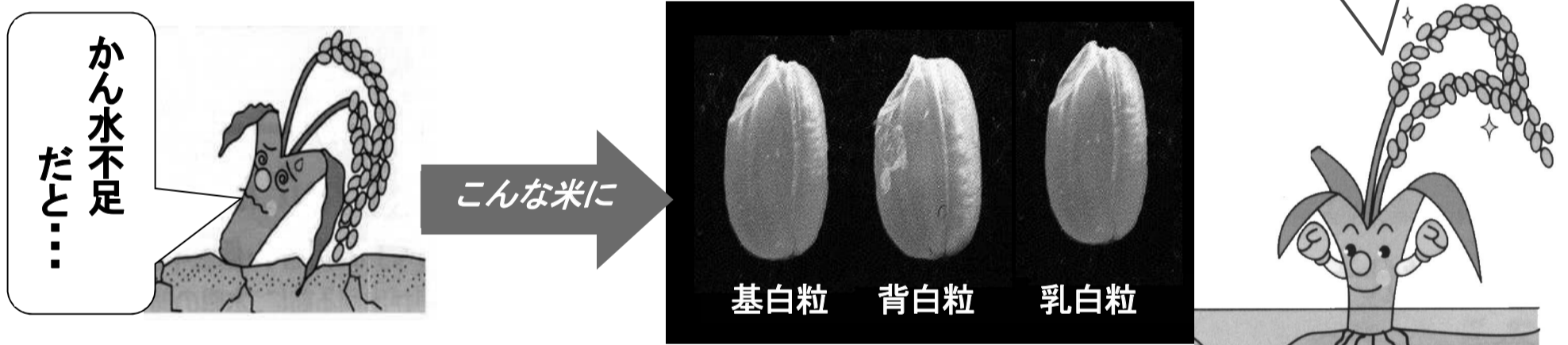
(1)出穂後20日間の水管理 ～ 湛水管理 ～

出穂後20日間は水深2～3cmの「湛水管理」を行いましょよう。
なお、水の入替えは適宜行いましょよう。

<効果>

根から十分に水を吸収し、葉から蒸散を盛んにし稲体温度の上昇をおさえることにより、茎や葉の活力を維持し登熟や品質を高め、白未熟粒の発生を防ぎます。同時にカドミウムの吸収を抑制します。

湛水管理で
白未熟粒の
発生を防ごう!



(2) 収穫までの水管理 ～ 間断かん水管理 ～

出穂20日後から収穫5～7日前までは「間断かん水」とし、適正な土壤水分を維持しましょよう。

<効果>

収穫間際まで登熟が良好に進み、乳白、背白粒等の白未熟粒や胴割粒の発生を防ぎます。

胴割米の発生
を防ごう!

収穫5～7日前に水尻の板を外して排水し、田面を固くしてコンバイン作業に支障が出ないようにしましょよう。



☆フェーン現象が予想される場合は、あらかじめ湛水しましょよう。

週間フェーン現象情報は、【NOSAI とやま】のHP (<http://micos-sajwa.or.jp/hokuriku/nosai-t/index.htm>)を参照してください。

☆下流域まで十分に水が行き渡るようかけ流しを止めて地域での計画的な用水利用に努めましょよう。

☆農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょよう。